

『イルミネーションすごいですねー！』患者さんだけでなく、クリニック前を通る知り合いからも声をかけられます。今年もスタッフが頑張って設置してくれました！クリスマスまでぜひお楽しみください。さて、今月は昨年に引き続き院長の執筆です。コロナ禍で日常は大きく変化しましたが、コロナのおかげで得られたことも多かった池澤家です。来年もワクワクした一年にしちやいましょう！！

池澤千恵子



**第5回 育児サークル
ほんわか開催のお知らせ**
日時：12月23日(木)
2ヶ月～4ヶ月児対象
ベビー体操・手遊び・予防接種のお話など盛りだくさん♪
お楽しみに☺
お電話にて受け付けます。
(先着10名まで)

年末年始のお知らせ
・12月29日(水)⇒休日当番医 (9:00～17:00)
・12月30日～1月2日⇒休診
・1月3日(月)～⇒休日当番医 (9:00～17:00)

住所:合志市野々島 2461 (コーパレス弁天 北側)
TEL:096-242-6633
診療時間:9:00～/14:00～18:00
休診日:木曜・土曜午後・日曜祝
URL:<http://www.ikezawaorg/>

『どんな未来もワクワクと』一年を振り返る

コロナ発生から約2年目。外出できず余暇を埋めるために断捨離を始め、妻は私の服や靴などフリマアプリで出品しまくり、年末にはとうとう我が家の売却まで果たした池澤家激動の一年だった。ネットで車ばかり見ている私に「そんなにヒマなら料理教室でも行ってみたら?」と言う妻のアドバイスのような命令に素直に従いアマゾンでエプロンを購入、娘と同じ年頃の女性に囲まれ料理教室に通った一年。黒酢のチキン南蛮、揚げない酢豚など、こんな世の中にならなければ一生作るはずのない手料理のスキルが身についた。私が料理教室に通っている話題はとかく皆、目を丸くして驚いてくれるのが嬉しい。先日は休日出勤のスタッフに手作りピザを振る舞ったが、賞賛の眼差しを受けたと自負している。料理教室の残り物をタッパーに詰めて帰宅し、妻とビールで乾杯しながらつつくのもまた良し。これまで台所ではウロウロするしかなかった私が今では余計なアドバイスをして妻にニラマレルこともある。(笑)

さて今年の春は「インフルエンザ」がほとんど発生しなかった、珍しい年であった。新型コロナとのウイルス干渉の影響か、それとも感染防止の意識が向上し、国民ひとり一人が人混みを避けた努力の賜物だろうか。毎年、インフルエンザの熱の持続を心配したり、熱性痙攣の合併症で治療に苦慮したりする悩みが無かったことは小児科医にとって、また保護者にとっても良かったといえる。

さて、学会や研究会も昨年同様ほぼインターネットでの開催となった。移動せずに参加できることは、体力的、経済的にも大助かりだが、友人・先輩との情報交流や会食が取れなかったのは、残念だった。飛行機に乗ることが大好きな私は、学会に参加できないコロナ禍で非常に寂しい思いをしていたが、今月初めには、やっと義母の25回忌で沖縄に行くことができた。久しぶりの沖縄、義弟と姉夫婦、沖永良部からの義母の弟妹(オジー、オバー)も勢揃いであったが、揃って元気な80歳以上の高齢者。島で畑仕事しているのは、長寿の秘訣かもしれない。改めて長く働き続けることの重要性を感じた。

実話

「ガックリさせてあげなから(TT)」

キャッシュレスの時代、当院はこの季節、券売機が大活躍！しかし子どもたちにはちょうど期待はずれかもしれません。



4コマまんが 作・絵 ちえこ&きみこ

またクリニックで仕事をしていて、コロナ感染者と直に会ったことが無かった私たち夫婦。妻の同窓会で驚くべきは20人中10人がコロナに既に感染し、それぞれ入院先で死と隣り合わせになったということだ。「生きていることって奇跡だよ」コロナ感染経験者の生の声を初めて聞いて自分の人生を改めて見つめることができた。現在、私の両親もかなり高齢だが、元気なうちに、産んでくれ、育ててくれたことへの感謝を伝えなければなるまい。忘れっぽくなった父に、本当に忘れられないよう施設には頻りに足を運ぼうと決心した。

最後に、この一年で多くの時間を費やしたのは間違いなく新しい自宅の設計である。年末に引き渡し予定だったのに、あーでもない、こーでもない、実物を見せてくれと、どんどん着工が遅れた。今日はタイル選びになかなか答えを出さない我々をみかねて、女性の営業担当がサンプルではなく実物のタイルを命懸けで持ってきた。妻より巨大なタイルは一步間違えば仮住まいの床と壁を破壊する重さで、両手を広げても抱えられない。そのタイルに四方八方囲まれ、倒れてきたら流血事件になりそうな危険区域でこの執筆をしているのだが、こんな重いものをよく運んでくれたなあ、と感心しきり。この一年間我々夫婦は積水ハウスの担当を相当悩ませたに違いないが常にフットワーク良く笑顔で対応してくれる彼女のプロ意識は尊敬に値する。思えば積水に決めたのも営業担当の人柄。重要なことは、数千万規模の大きな買い物も、たった1人の人間で決まるということ。私も小児科医師として、患者さんから信頼され、認められ、求められる存在になりたい。その為に料理教室に通い、筋トレに通い、毎朝 voicy(ボイシー)で様々な知識を得、知見を広げ、どんなに派手だと言われても子ども達の為にピンクや黄色のドラえもんのシャツを着る。医師としてだけでなく魅力的な人間に成長できるようさらに精進を重ねる毎日である。

院長 池澤滋

